

概要：公園利用が自然生態系へ与える影響の軽減及び植生復元による荒廃の未然防止等による、自然生態系の有する防災・減災機能の維持や、老朽化した利用施設等の再整備による災害時の避難経路および緊急避難場所の確保が課題となっている。人命や国土荒廃の防止の面で課題があるこれらの施設について、登山道の補修、緊急退避所となる避難小屋等の改修、国土荒廃防止に対応した法面崩落防止に資する自然環境整備等の対策を実施する。

府省庁名：環境省

【事例】支笏洞爺国立公園支笏湖ビジターセンター改修事業

- 実施主体：環境省 北海道地方環境事務所
- 実施場所：北海道千歳市
- 事業概要：利用拠点施設において、災害時の緊急的な避難を受け入れられるよう太陽光発電設備を改修し、蓄電池を設置した。
- 事業費：全体事業費約1億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)約1億円)
- 効果：ソーラーパネルの改修により発電量が増加するとともに、蓄電池を設置したことで、災害時に周辺の利用者の緊急避難施設としての役割を果たすことが見込まれる。



改修した太陽光発電設備



設置した蓄電池

設置した防災切替盤